

兒童教化部便り

田中浩道記

法然さまをまん中に、子供の國を作り出せ是れは現在私達の理想として念願して止まない標語である。而しこの標語は眞にこれを實現してこそはじめて活きる言葉である。我々は今「童心淨土」建立を目ざしてこれが達成の爲に朝な夕な其の研究に勇往邁進してゐるのである。而して又この光輝ある歴史を有す吾が兒教部は幾多の御高德なる諸先輩の厚き御指導によつて増々其の發展と内容の充實を示しつゝある事は部員一同の喜びとするところである。

今や過ぎにし一ケ年の足跡を記録にもとづきて茲に簡略に報告することゝす。
四月四日、花まつり、各教團参加盛大なりしが不幸雨に見舞はる。
四月八日、「花まつりの夕」としてフタハ

タ合唱團OKより放送。

四月十二日、新部員募集。

四月十五日、新部員申込者四十名に達す
四月二十日、新舊主任大會を生徒用室に

於て開催す。

四月廿一日、委員會部長以下各委員出席
四月廿二日、部員配屬一覽表を作成發表
五月二日、顯道會館に於て第一回關西學生童話聯盟童話批判會を開催す、館君出席。

五月三日、教團研究第四號發行。

五月六日、委員會部長以下各委員出席。

五月十日、部員總會、新部員歡迎、昨年度決算、本年度豫算並に、同事業概要等協議す。

五月十二日、山内京都教務所に於ける月刊兒童教化に關する協議に部長以下各委員出席す。

五月十四日、教團主任會議。淨土宗勢至まつり綜合兒童大會の件につきて協議
五月十六日、伊香立新知恩院に於ける花まつり童話會へ平松委員出席。

五月十八日、本日より三日間兒教部綜合講座を開催す、其の初日として高橋良和氏指導、童話の發生より實演までを行ふ。

五月十九日、兒教部綜合講座第二日松尾清昭氏指導、テキストにより音楽につ

いて。

五月二十日、兒教部綜合講座第三日淺野靈昭氏指導、佛敎舞蹈について。

五月廿四日、委員會勢至まつり兒童大會につきて協議す。

五月廿五日、知恩院寺務所に於て知恩院教務部社會課と勢至まつりについて打合せをす。

五月廿七日、委員會部長以下各委員出席して勢至まつりについて打合せをす。

五月廿八日、教團主任會特に勢至まつり兒童大會について協議す。

六月二日、館、田中、勢至まつりの相談のため本山へ出頭、平松、東中へバンドの件に關し出張す。

六月四日、委員會部長以下各委員出席。

六月七日、館、田中の兩委員勢至まつり使用の旗の寄附に着手す。平松委員行列の件に關し松原署へ出頭。

六月八日、部員總會。大會案内狀、プログラム發送。

六月十日、華頂幼稚園にて高橋、白崎、河合の各先輩と大會の打合せをす。

六月十一日、華頂會館に於て大會總練習舉行、終了後各委員諸準備に着手。

六月十二日、大會準備を山内良正院にて行ふ。

盡力を感じ謝す。

六月十五日、勢至祭兒童大會の批評會並に慰勞茶話會、部長顧問以下多數出席

六月廿二日、委員會、勢至まつり會計報告。

六月廿五日、夏期傳道童話座談會を内山靈堂先生を中心にして京都教務所に於て開催す。以上を以て第一學期の記録を閉じ第二學期へと移る

九月十六日、委員會部長先生以下各委員及び兒童協會より高橋河合の兩先輩出席す。

九月十七日、教團主任會談。

九月十九日、動物祭相談會、館委員出席

九月廿一日、夏期傳道報告會並に慰勞茶話會。

九月十九日、慧成教團愛國おはなし會。

勝圓寺に於ける愛國おはなし會。

九月廿三日、葵教團愛國おはなし會。

九月廿五日、北野野外童話、田中委員司會、館、眞野、三上等實演。二葉教團愛國おはなし會。

九月廿六日、東山教團愛國おはなし會。

九月廿八日、寮生ホールに於て月刊兒童教化座談會並に高橋良和氏從軍送別會開催。

九月廿九日、知恩院恤兵部へ應援の爲出頭。

十月三日、檀王教團に於て關西學生童話聯盟實演童話批判會を開催司會館委員當番佛專各代表五十名出席淨朋教團愛國おはなし會。

十月七日、委員會、部長以下各委員出席特に教團運動會について。

十月九日、百萬遍教團愛國おはなし會。

十月十日、動物まつり。軍馬慰靈祭。高臺寺及び市立動物園にて各教團參加。平松委員會進行田中委員受付會場係として活躍す。

十月十二日、教團主任會運動會について

十月十四日、委員會富松會館にて。

十月十六日、知恩院恤兵部主催愛國おはなし會委員六名出席。光林教團愛國おはなし會。

十月二十日、部員總會左の如し

(1)運動會開催について。

六月十三日、第三回勢至まつり兒童大會各役員七時集合、第一部九時四十五分より知恩院大殿に於て平松委員會司會のもとに行はれ終了後大殿前より銅像前まで「勢至まつり」の旗を手に手にかざしバンドを先頭に大行進を開始銅像前にて第二部終了後中食をなし、いよゝ第三部兒童大會の幕は開かれた國歌謹唱宮城遙拜につゞき館君司會の挨拶があり充實せるプログラムにもとづいてとゞこほりなく無事終了した。引續いて別館にて批評會菊水にて聖餐會あり部員多數出席して盛大なり細井君の發聲にて「勢至まつり萬歳」を三唱して閉會す。吾等の最も心をこめたる勢至まつりの兒童大會は實に「法然さまをまん中に子供の國を作り出せ」の標語に合致し吾等部員の喜びこれにすぐるものはない最後に先輩諸兄のお

(2) 銃後の運動

A 教園兒童出征家族慰問

B 陸軍病院慰問

C 慰問文慰問書の募集。

(3) 教園勤行統一。

十月廿二日、秋期教園聯合運動會の件につき館、平松、田中の各委員東中に出席種々協議す。

十月廿五日、秋期教園聯合運動會の件につき平松、田中、三上の各委員東中に出席。先輩高橋良和氏を京都驛にお迎への爲田中、白馬、梶原の各委員出席。十月廿四日、惠照教園愛國おはなし會。十月廿六日、教園主任會運動會について。十月三十日、二葉教園愛國おはなし會。十一月二日、運動會案内狀作成。明照教園愛國おはなし會。

十一月三日、運動會案内狀發送。

十一月六日、雨天の爲運動會準備不能東中との協議の結果十四日に延期。

十一月七日、日岡教園愛國おはなし會。

十一月九日、委員會。部長以下各委員出席。

十一月十二日、教園聯合運動會の件につ

き田中、三上の兩委員東中へ出席。

十一月十三日、運動會準備にて益々多忙

同日、滋賀縣さぐなみ日曜教園愛國おはなし會に平松委員を派遣す。

十一月十四日、第四回淨土宗日曜教園聯合運動會。この日昨夜おそくまで準備の庭にありし各委員も午前八時には東中校庭に其の姿を現はし着々準備に移るつゞいて八時半頃山鷲隊長を先頭に葵健兒園到着しつゞいて土山主任の引ゆる葵教園々兒一〇〇名入場す。かくして午前九時二十分には光林、慧成

黒谷、慧照、二葉、作福、東山、明照、徳壽院、岡の教園各々園旗先頭に入場し華頂、悟眞寺、淨福寺、葵の各幼稚園入場、九時半より木本大雅氏司會の許に國歌誦唱、國旗掲揚、皇軍戰捷祈願默禱、黒谷教園優勝カップ返還、代表選手宣誓、京都兒童協會長の祝辭、佛尊兒童教化部長の祝辭、東山中學校長の祝辭の後平松委員の號令にてラヂオ體操を行ひ一同退場。かくし

てプログラムによつて着々と進行。最後にいよゝ待つた教園四百米リレー

!!嵐の如く起る應援最後まで戦ふ選手、かくして男子優勝慧成教園、女子優勝黒谷教園、職員優勝光林教園にして三時三十四分より高橋良和氏司會の許に閉會式舉行優勝カップ授與、リボン授與、加藤先生挨拶萬歳三唱、宗歌齊唱、國旗降下、この時正に五時五〇分なり

十一月廿二日、慰問文慰問書を集む。

十一月廿三日、岡教園愛國おはなし會

十一月廿五日、委員會。運動會決算。

十一月廿七日、關西學生童話聯盟童話會

小林君派遣。館、三上兩委員出席。

十二月三日、委員會。慰問文慰問書の整理。

一月十九日、委員會京都教務所に於て特に教園研究、教園日誌發行の件について。

一月二十日、本日より教園研究、教園日誌の編輯に着手す。

一月廿八日、本日より五日間平安養育院

の寒行に各委員應援す。

一月三十日、關西學生童話聯盟童話會誓願寺に於て眞野君派遣、田中、梶原、白馬出席、兒教部代表平松委員愛しき子供の手に依つてなつた、慰問文慰問書葉子等を持つて第十六師團傷病兵を御慰問す。

二月四日、菊水にて昭和十二年度送別會開催盛大なり。

以上を以て校友會兒教部一ケ年の事業報告を終りにす最後に一言若き教團の先生達よ、現在で満足するな、世の中に自己満足位怖ろしいものはない自分を亡ぼすだけでなく、子供にまで影響するから先輩が作つてくれた、名譽ある兒教部のこの聖業をいつまでも／＼發展させよ而して今日の一步々々の確實な研究こそ明日の日曜教團を作るのだ。お互に進まう象が竹林を破壊して進むが如く佛の旗印を高らかに樹てゝ聖火を手にかざして、すべての障害を焼きつくして進軍しようではないか。

インターネット公開許諾のない文章には
墨消し処理を施しています。